



関中央ロータリークラブ

2021-2022 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
 事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
 会長 土屋 敏幸 副会長 波多野 篤志 幹事 伊佐地 司 クラブ会報委員長 後藤 政之

2021~2022 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
 「みんなで考えよう 未来へ繋ぐために」



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 新型コロナウイルス感染症対応原稿例会
 第 2056 回例会 2022 年 2 月 3 日 担当 国際奉仕委員会
 寄稿者 川上 勉会員 テーマ 「国際奉仕について」

*会長あいさつ 土屋敏幸会長

今年最初の例会が、原稿例会になってしまいました。新型コロナウイルス・オミクロン株の感染力はものすごいですね。今のところ重症者が少ないことだけが救いです。毒性の強い新たな変異株が出ないことを心より祈ります。

今日のプログラムは、またまた大先輩の川上勉会員で、テーマは「国際奉仕について」です。よろしくをお願いします。

今年、私は生まれた年を含め6回目の寅年を迎えました。知らないうちに時は過ぎていくのですね。私の今の仕事を紹介して下さった下有知の95才の師匠が常々「40才までに仕事は何とかしなければいけない」と仰っていましたが、出来の悪い弟子でしたので、よく叱られました。20年も過ぎてまだ確立できていない私ですが、いまだにかわいがって頂いております。いつまでもお元気でいてくださいますようお願いしております。

さて、昨年もコロナ禍の影響でロータリー活動が十分に実施できませんでした。今年も多かれ少なかれ影響は避けられません。状況に応じてやれることは

やる。その中から新たな活動を皆様とともに考え、見出し実行していければと思います。まだまだご迷惑をおかけしますが、今年も宜しくお願いします。

*寄稿者 川上 勉会員

テーマ「国際奉仕について」

ロータリーの奉仕プログラムの流れを再確認して頂くため「ロータリーの樹」についてお話しします。



これは、「ロータリーの樹・2008」です。一本の樹木、

「樹」を想像していただきたいのです。「根」はクラブ奉仕であり、「幹」がロータリーの根幹である職業奉仕、「枝と葉」は、社会奉仕、国際奉仕、「花」はロータリー財団となり、それぞれに多くの「実」を結びます。

1905年、ポール・ハリスによって創始された当初のロータリー・クラブは、歴史が示すように、はじめは親睦・助け合いから始まりました。

すなわちロータリーの樹に、「水と栄養」を送る「根」は、「クラブ奉仕」であります。ロータリー・クラブ会員は、クラブ例会等で、奉仕の理想を学び、その真意が、共存共栄であると皆さんは、理解して見えますと思います。

そして、クラブ会員は、「ロータリーの綱領」を基本とし、国際的にも有効性も認められたロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得し、クラブでの奉仕の実践によって、会員からロータリアンとなります。ロータリー・クラブの会員からロータリアンに進化していくもう一つの基盤は、公式の標語「超我の奉仕」があります。又、皆さん良くご存じの第二標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」が存在します。

クラブ奉仕という「根」から吸収された「水」と「栄養」すなわち、「サービスの理念」は、ロータリーの根幹といわれる職業奉仕の「幹」に入り、「幹」の中にある「奉仕の理想」という導管を通して「社会奉仕」、「国際奉仕」という枝や葉に届き、そして「ロータリー財団」などの「花」を咲かせます。

また、それぞれの奉仕活動が、すべてお互いに助け合い励まし合い相働いて多くの「実」を結びます。

例えば、ポリオ撲滅、平和フェロー、ロータリー財団奨学生、グループ研究交換(GSE)、世界社会奉仕(WCS)などの多くの素晴らしい形のある実を結んできました。

「ロータリーの樹」の枝葉の国際奉仕についてお話しします。

国際奉仕とその歴史的経緯。

初期のロータリーには今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。第一次大戦中の1917年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や傷病兵、復員し

てくる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなど歴史的背景を受けて、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が、1922年に綱領の第6項目として正式に明文化されました。2度にわたる世界大戦を通して世界平和を願うロータリアンは、1945年にアメリカ国務省から要請を受けて49名が国連憲章の原案作成作業に参加したといわれています。

国際奉仕活動に関するロータリアンの責務

世界で紛争や戦争など有事の際には、国際ロータリーは中立を守る立場にあり、当該国のロータリークラブとロータリアンは、それぞれ国法を遵守しなければならず、これらの国々の間では友情や親睦を築く事は困難になります。

つまり世界の恒久的平和の推進を願うロータリーの国際奉仕活動も、有事の際には限界があるという矛盾もはらんでいます。しかし、ロータリアンは手続要覧に9項目書かれている、個々の責務を忘れてはならない。

9項目の手続き要覧

1. 愛国主義にとらわれず、国際理解と親善と平和を推進するという責務を共に負っているものとみなすべきである。
2. 国家的または人種的優越感によって行動しないようにすべきである。
3. 他国民と強調する共通の基盤を求め、これを育成すべきである。
4. 理想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの解放、欠乏と恐怖からの解放を享受できるように、個人の自由を守る法律と秩序を擁護すべきである。
5. どこかが貧困であれば、全体の豊かさを危うくすると認識し、あらゆる国の人々の生活水準を高めようとする行動を支援すべきである。
6. 人類に対する正義の原則を高くかざすべきである。この原則は基本であり、世界的なものでなければならないと認識すべきである。
7. 国家間の平和を推進しようと常に務め、この理想のためには個人的犠牲を払う覚悟をすべきである。
8. 実践されれば、必ず豊かで充実した人生をもたら

す、倫理的・精神的な基本水準が存在すると認識しながら、国際親善の一步として、あらゆる他の人々の信念を理解する心をかき立て、これを実践すべきである。

9. 国家間の関係が緊迫しているところで活動やプログラムを実施する場合には、適切な注意を払うべきである。

国際奉仕の四つの分野

1. 世界社会奉仕活動
2. 国際レベルの教育及び文化活動
3. 特別月間と催し
4. 国際的な会合

世界社会奉仕活動の歴史

世界社会奉仕活動は、発展途上国や開発途上国に対する人道的奉仕活動という新しいニーズによって、国際奉仕活動に新しい流れをつくりましたが、一方で、ロータリーの綱領上で国際奉仕活動の一分野であると、明記されていなかったために、多くの混乱や議論を生みました。1967年に正式に国際ロータリーの常設プログラムとなり、地区とクラブは、社会奉仕活動のために、WCS委員会を設置するよう推奨されました。

世界社会奉仕活動

世界社会奉仕活動は、英語では World Community Service と記され、WCS活動と言われています。国や行政が地域社会のニーズを満たせない発展途上国や開発途上国で、自国のロータリークラブも資金の制約等で奉仕活動が実践できない場合に、海外の地区やクラブに援助を求め、協力して奉仕活動を行うのが、世界社会奉仕活動です。

世界社会奉仕活動の要件

- ①プロジェクトが人道的奉仕活動であること
- ②2カ国以上のロータリークラブが関与すること
- ③プロジェクトはこのうちいずれか1カ国で実施すること

以前、姉妹クラブの南隆RCから東日本大震災復興事業を関中央と日本に対するWCSの立ち上げの要請がありました。その要請に対して、日本を見る世界感覚に驚いたのみで要請には乗れませんでした。

世界社会奉仕の恩恵

援助される側の人々だけではなく活動に参加したロ

ータリアンも恩恵をこうむることを実感する。さらに国際理解や親睦を一層深めていく事ができる。奉仕対象の相手だけではなく、奉仕をした自分も満たされるのが、真の奉仕だそうです。

プロジェクトの資本調達

プロジェクトの原資となる資金は、まずロータリー個人やクラブが提供するものが基本であるが、以下3項目のロータリー財団資金を利用する事も可能です

1. 国際財団活動資金 (WF)
2. 地区財団活動資金 (DDF)
3. 地区補助金 (DSG)

国際レベルの教育及び文化活動

①ロータリー友情交換

ロータリアンや家族のための国際交流プログラムで、海外のロータリアンの家庭に滞在し、国際理解と親睦を深める。

②世界ネットワーク活動グループ

ロータリー親睦グループとロータリアン行動グループが含まれます。ロータリアン、ロータリアンの配偶者、ローターアクターなら誰でも参加することができ、多くの世界ネットワーク活動グループがあります。

③国際青少年交換

現在「新世代プログラム」に入っていますが、元は国際奉仕プログラムの一つでした。高校生または該当する年齢の若者に外国の文化に触れ、学ぶ機会を提供するもので、将来彼らが地域社会のリーダーとして、国際理解を深め世界平和に貢献されることに生かされる事が期待されています。

④国際的な会合

ロータリアンは国際大会を始めとするロータリーの国際的な会合に積極的に参加し、国際レベルで友情や親睦を深めることが推奨されています。

私たちのクラブは、台北南隆ロータリークラブと「姉妹クラブ」を締結して長期的な友好関係を築いています。その主な目的のひとつは、青少年交換事業です。もうひとつは、国際親善と親睦活動の推進にあります。海外クラブと緊密な友好関係を築くことにより、今後、両国のクラブは共同で相手国あるいは第3国でWCSプロジェクトに取り組む機会も生まれてきま

す。

国際奉仕委員会活動とは

ロータリアンの社会的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進する活動であり、相手国に対する飢餓・貧困・疾病・教育等の国際的援助活動は、物資や金銭を援助する事でのみでなく「自立を助ける援助である」と言われています。

他国の人々を助けることを目的としたRCクラブのあらゆる活動やプロジェクトの協力を通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものです。ポリオ・プラスへの貢献から青少年交換学生の派遣国での異文化適応の支援まで、さまざまな活動が国際奉仕活動に当てはまります。関中央RCクラブが現在実践している国際奉仕活動こそが国際奉仕活動そのものだと思います。

<次例会の案内>

第 2057 回 2022 年 2 月 17 日 (木)

卓 話 岐阜新聞社 取締役

統合編集局長 國本 真志登様

テーマ「岐阜新聞解体新書」

～実は過去にこんな失敗しちゃいました～